

建築物エネルギー消費性能基準 [H28年4月以降]  
一次エネルギー消費量計算結果(住宅)

1. 住宅／住戸(タイプ)の設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅／住戸(タイプ)の名称(建て方)	〇〇〇〇邸(戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	計
	29.81㎡	51.34㎡	38.93㎡	120.08㎡
(3)地域の区分/年間の日射地域区分	6地域		*****	
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次エネルギー[MJ]	基準一次エネルギー[MJ]
	暖房設備		13383	13383
	冷房設備		5634	5634
	換気設備		4583	4542
	給湯設備		41306	25091
	照明設備		9506	10763
	その他の設備		21241	21241
	発電設備の発電量のうち自家消費分 *1		-27002	--
	コージェネレーション設備の売電量に係る控除量 *2		---	--
	合計		68652	80653
(5)判定	一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		68.7	80.7
	結果		達成	
(6)BEI	一次エネルギー消費量(その他除く)[GJ/(戸・年)]		47.5	59.5
	BEI		0.80	

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

(4)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。(5)の値は小数点以下一位未満の端数を切り上げているため、(4)の合計と一致しないことがあります。

\*1:発電設備にはコージェネレーション設備および太陽光発電設備が含まれます。\*2:コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

2. 住宅／住戸(タイプ)の仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮／設備項目		外皮／設備の仕様
A. 外皮	評価方法	当該住戸の外皮面積の合計を用いて評価する
	総外皮面積	307.51 ㎡
	外皮平均熱貫流率	0.87 W/㎡K
	平均日射熱取得率	暖房期 $\eta$ AH: 4.3 冷房期 $\eta$ AC: 2.8
	通風の利用	主居室: 通風を利用しない その他の居室: 通風を利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない
	床下換気システムの利用	床下換気システムを利用しない
B. 暖房設備	運転方式	居室のみを暖房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(ろ) 小能力時高効率型コンプレッサー: 搭載しない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(ろ) 小能力時高効率型コンプレッサー: 搭載しない

C. 冷房設備	運転方式	居室のみを冷房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(ろ) 小能力時高効率型コンプレッサー: 搭載しない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(ろ) 小能力時高効率型コンプレッサー: 搭載しない

(2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	ダクト式第二種またはダクト式第三種換気設備 比消費電力:0.30 W/(m <sup>3</sup> /h) 換気回数:0.5回/h
E.熱交換	熱交換型換気を設置しない

(3) 給湯仕様

設備項目	設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無
	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機
	コージェネレーションを使用する ふろ給湯機(追焚あり)
	配管
	先分岐方式
	水栓
	台所: 2バルブ水栓 浴室シャワー: 2バルブ水栓 洗面: 2バルブ水栓
	浴槽
	高断熱浴槽を採用しない

(4) 照明仕様

設備項目	設備の仕様
G.照明設備	主たる居室
	すべての機器において白熱灯以外を使用している 多灯分散照明方式の採用: 採用しない 調光が可能な制御: 採用しない
	その他の居室
	すべての機器において白熱灯以外を使用している 調光が可能な制御: 採用しない
	非居室
	いずれかの機器において白熱灯を使用している 人感センサー: 採用しない



## (5) 発電仕様

設備項目		設備の仕様
H.太陽光発電設備	パネル面数	太陽光発電を採用しない
	その1	*****
	その2	*****
	その3	*****
	その4	*****
	パワコン	*****
I.コージェネレーションシステム		逆潮流を評価しない PEFC1

## (6) 太陽熱利用設備仕様

設備項目		設備の仕様
J.液体集熱式太陽熱利用給湯		採用しない
K.空気集熱式太陽熱利用設備	設備仕様	設置しない
	集熱器群の数・方位	*****
	集熱器群1	*****
	集熱器群2	*****
	集熱器群3	*****
	集熱器群4	*****

3. 参考値

(1) 設計二次エネルギー消費量等(参考値)

設計二次エネルギー消費量			コージェネレーション設備の 売電量に係るガス消費量 の控除量[MJ] *2	未処理負荷の 設計一次エネルギー消費量 相当値[MJ] *3
消費電力量[kWh] *1	ガス消費量[MJ]	灯油消費量[MJ]		
2363	45158	0	0	427

\*1: 当該住戸で消費する電力量から、太陽光発電設備およびコージェネレーション設備による消費電力削減量(発電量のうち、当該住戸で消費される自家消費分)を差し引いた値を表記しています。

\*2: コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要したガス消費量相当量です。

\*3: 未処理負荷とは、当該住戸に設置された暖冷房設備機器で処理できなかった負荷を指し、負荷を処理した暖冷房設備機器とは別の、何らかの暖冷房設備で処理したと仮定して、設計一次エネルギー消費量相当値に換算しています。

(2) 発電量・売電量(参考値) \*1

発電量[MJ]		売電量[MJ]	
コージェネレーション	太陽光発電	コージェネレーション	太陽光発電
27002	0	0	0

\*1: すべて一次エネルギーに換算した値